

南高図書館だより

2025 年 3 月号
浦和南高校図書館

図書委員のおすすめ本



『アルジャーノンに花束を』

ダニエル・キイス／著 小尾美佐／訳 早川書房(ハヤカワ文庫)

知的障害を持った32歳の男性、チャーリー・ゴードンが主人公の物語です。自分の頭の悪さに悩んでいたチャーリーは、大学の教授から「君の願いを叶えられるかもしれない」と言われ、人間の頭を良くするという人体実験を受ける事になります。実験を受けて、チャーリーの知能指数は驚異的な飛躍を見せ、天才かと思わせる域まで達します。その結果、周囲の人達から悪い扱いを受けている事に気付いて……という感動するお話です。この本の舞台はほぼ常に、チャーリーが実験の中で書いた「日記」の中で物語が展開されていて、その中で彼の変化を感じられる所も魅力です。ぜひ、読んでみて下さい。

『一九八四年』

ジョージ・オーウェル／著 高橋和久／訳 早川書房(ハヤカワepi文庫)

この本は、架空の国家「ユーラシア」に住む主人公ウィンストンの視点で描かれる社会主義や独裁国家をモチーフとしたディストピア小説です。原作は第二次世界大戦直後に発表されたもののなのですが、一世を風靡すると同時にのちのディストピア小説や社会学的な考え方に影響を与えた作品です。ウィンストンは完全に抑圧された社会ながら、どう生きていくのかを緻密な描写で描かれています。簡単な小説ではないですが、一つの史料として見ると面白いと思います。ぜひ、読んでみてください。



『あの星が降る丘で、君とまた出会いたい。』

汐見夏衛／著 スターツ出版(スタート出版文庫)

転校生の涼は転校先で、百合という一人の少女に出逢います。周りの子達とはどこか雰囲気が違う、そんな彼女と話していくうちに涼は彼女に惹かれていきます。しかし百合には忘れられない人がいました。それは75年前の戦時中に会った一人の男性。そう、彼女が初めて愛した人は特攻隊員、もうこの世にはいない人なのです。百合と涼、二人の切ない恋物語。ぜひ読んでみてください。

図書館からのお知らせ

◆春休みのお知らせ◆

春休み中の図書館について

3月25日(火)～4月7日(月)は春休みです。新年度に元気な顔で会いましょう。
春休み中の貸出冊数等は次のとおりです。

春休み中(3/25～4/7)は休館です。



春休み前の貸出

10冊まで



返却日

3/12(水)～3/24(月)貸出分 → **4/14(月)**

蔵書点検(3/6, 7, 10, 11)を実施しました

図書館の約3万冊ある本のバーコードを、1冊ずつ専用の機械で読み取り点検する、蔵書点検を実施しました。図書委員を中心とした生徒が4日間、根気のいる読み取り作業にあたってくれました。

蔵書点検中はご協力ありがとうございました。**図書館は 3/24(月)まで開館**しています。
春休み前にたくさん図書館を利用してください。

返し忘れの本、ありませんか？

返却期限が過ぎたまま、返し忘れていた本はありませんか。

心当たりのある人は、きちんと返却して、

気持ちよく新学期を迎えましょう！



新着図書PICKUP

2月に新しく入った本



知識の本

教えて！からあげ先生はじめての生成AI

からあげ／著 いまがわ／漫画 ずっきー／文 KADOKAWA

仕事、勉強、ダイエット…。やることたくさんな人へ、一日を48時間にするのは難しくても、生成AIで効率化できるかも。これは、AI「ど素人」向けに書かれた入門書。AIのプロが、無料で使える生成AIの紹介から明確な指示の出し方まで、生成AIの使い方をマンガと文章で教えてくれる。文字も多すぎず、読みやすい！ ChatGPT、Claude、Gemini、Copilot対応。

中学生から知りたいパレスチナのこと

岡真理／著 小山哲／著 藤原辰史／著 ミシマ社

「埼玉県の高校図書館司書が選んだイチオシ本2024」第8位！ 世界の、とりわけ近代ヨーロッパの500年の歴史の諸矛盾が凝縮された「パレスチナ問題」。「力を振るわれてきた側の目線から書かれた世界史が存在しなかったことが強国の横暴を拡大させた要因の一つであるならば、現状に対する人文学者の責任は重い」と捉える、アラブ、ポーランド、ドイツを専門とする研究者3人が、今パレスチナで起きているジェノサイドの暴力について考える。

夢も金もない高校生が知ると得する進路ガイド

石渡嶺司／著 星海社(星海社新書)

「埼玉県の高校図書館司書が選んだイチオシ本2024」第10位！ 夢も金もない、どうしていいかわからない、そんな人のための進路選びの最新ガイドブック。進路に悩む高校生に向けて、進路と夢の関係をはじめ、夢以外の要素で進路を決める方法、各進路のコスパ、大学進学、短大・専門学校進学、高卒就職について、進路関連の取材歴22年の著者が解説する。

チョコレートと日本人

市川歩美／著 早川書房(ハヤカワ新書)

「しょくらあと六つ」。これは、江戸時代末期の長崎出島で記述された日本最古のチョコレートの記録。その後、チョコレートは日本に定着し、独特な日本のチョコレート文化を形作ります。期間限定品や新商品は海外に比べて多く、バレンタインの盛り上がりは世界でも類を見ないほど。なぜ日本人はチョコレートに熱狂するのか？ 日本唯一のチョコレートジャーナリストが、文献調査とショコラティエ、関係者への取材を軸に、日本人とチョコレートの歴史、現在、未来を語る。

崖っぶちの老舗バレエ団に密着取材したらヤバかった

渡邊永人／著 新潮社

破たん寸前の苦境からチケット即完売の奇跡！ 老舗バレエ団に密着取材し、YouTubeで公開してきた著者が、残酷なバレエ界の真実の姿を明かす。トゥシューズを買うのも苦しい週5バイトのバレリーナ。コロナで帰国を余儀なくされた海外の元プロバレエ団員。バレリーナから芸術監督まで、著者が密着撮影を通して関わった「人」の魅力が溢れるノンフィクション。

歴史的に考えること 過去と対話し、未来をつくる

宇田川幸大／著 岩波書店(岩波ジュニア新書)

なぜ歴史的に考える力が必要なのか？「歴史を学ばないこと」による問題とは何か？ 近代日本の歩みをたどりながら、現在進行形の諸問題との連関を検証し、広い視野で物事をとらえ、よりよい未来をつくる意義を提起する「歴史学」入門。次の一歩のための読書案内付き。

新書コーナー



小説・文学

PRIZE

村山由佳／著 文藝春秋

ライトノベルで賞を獲得、一般小説は本屋大賞に輝き、映像化作品も多数ある人気作家の天羽カイン。しかし、直木賞が取れない。文壇から正当に評価されない。私の、何が駄目なの？。何としてでも認めさせてやると息巻く天羽は、「南十字書房」の編集者・緒沢千紘と共に直木賞を狙う！「直木賞」や「アマゾン」など実名をバンバン出して書かれる出版業界の裏側も面白い。

おんなの女房

蟬谷めぐ実／著 KADOKAWA(角川文庫)

ときは文政、ところは江戸。武家の娘・志乃は、歌舞伎を知らないままに、評判の女形・喜多村燕弥のもとへ嫁ぐ。舞台の上だけでなく家でも女としてふるまう燕弥。女よりも美しい夫を前に、志乃はいつも落ち着かない。この人は、なぜ私と一緒にになったのか。私がここにいる良い理由は何か。人気役者の女房や燕弥の相手役も絡み、歪な二人の関係が少しずつ変化していくのが味わい深い。最後まで読めば本編の前の「呼込」の意味がわかる仕掛けも良い。文学賞二冠の恋物語。

ここで唐揚げ弁当を食べないでください

小原晩／著 実業之日本社

高校を卒業し、18歳で逃げるように就職して、東京23区内へ上京したある女の子の東京での生活を中心としたエッセイ集。「ここで」「どこで？」と思った人は読んでみてください。のんきな文体に、過去の笑いも失敗も、恥や傷だって、何でもないと思えてきます。2022年に自費出版で一万部を売り上げたエッセイ集が、このたび新たに17編を加えて商業出版されました。

図書館報「BookStand」発行しました

図書委員会が年1回発行する図書館報「BookStand」(第53号)を発行しました。

校長先生のオススメ本と、
現1・2年生図書委員のオススメ本が、
計32冊紹介されています！

掲載された校長先生や図書委員のオススメ本は
図書館で借りることができます。
春休みのお供に、一冊いかがですか。

